



一般社団法人東京都医療ソーシャルワーカー協会 都民向け公開講座

後援：東京都・公益社団法人東京都医師会

がんを経験して見えてきた “生きること” ～今、そしてこれから～

がんの経験は、特別なものではなく、日々を見つめるきっかけにもなります。がんを経験した人の“生きた知恵”や言葉にふれながら、

今をどう生きるか、これからをどう考えるかを静かに感じる時間に。音楽と語りが、前を向くことが難しい日にも寄り添い、

“そのままの自分”を包み込むような場になればと思います。

講師

NPO法人がんノート 代表理事 岸田 徹 氏

国立がん研究センター 研究員 山崎 まどか 氏

演奏

あかり在宅クリニック 医師 浅野 涼 氏



2026年3月7日(土) 14-16時

(受付開始13時30分)

会場：国立がん研究センター 研究棟（大会議室）

中央区築地5-1-1（会場の詳細は裏面をご参照ください）

申込方法：以下のURLもしくは二次元コードからお申し込みをお願いします。
(会場・WEBいずれも事前申込が必要です)

URL：<https://forms.gle/vsxUs9y1BUATcNe97>

申込締め切り：2026年2月21日



・参加費：無料

・対象：東京都内在住・在勤者の方を優先

・開催方法：会場開催（先着優先200名）及びWEBライブ配信（80名）

※WEB配信は、上記対象者以外の方もご視聴いただけます。

・アーカイブ配信はありません。

連絡先：東京都医療ソーシャルワーカー協会事務局 豊島区南大塚3-43-11福祉財団ビル5階

TEL：03-5944-8912（火～金 10時00分～16時00分 ※祝日を除く）

E-Mail：tokyo-msw@tokyo-msw.com ※お問い合わせのお返事には数日頂くことがあります。

<講師紹介>

岸田徹 氏 (NPO法人がんノート 代表理事)

1987年大阪府出身。立命館大学卒。

25歳で希少がん「胚細胞腫瘍（胎児性がん）」を経験。3か月の抗がん剤治療、2度の手術を受ける。約2年後に再発し手術を受け、現在は経過観察中。

2014年に、がん経験者のリアルな声を届けるインタビュー番組「がんノート」を立ち上げ、これまで400名を超える語りを配信してきた。

NPO法人代表理事として活動するほか、国立がん研究センター広報企画室にも所属、東京科学大学特別講師や東京都のがん教育講師など、がんとの共生に関する普及啓発や教育活動に取り組んでいる。

山崎まどか 氏 (国立がん研究センターがん対策研究所 研究員)

日本福祉大学大学院福祉社会開発研究科修了。

都内医療機関でソーシャルワーカーとして勤務した後、がんとの共生施策や職能団体の事務局に携わる。現在はがん医療支援部にて、がん医療ネットワークの構築や多職種研修の企画・実施を担当。

福祉の立場から、がんを経験した方々の声が施策や実践現場に生かされるよう、研究や事業を通じて働きかける活動に取り組んでいる。

<演奏・ピアニスト紹介>

浅野涼 氏 (あかり在宅クリニック医師)

京都府京都市出身。灘中学校、灘高等学校を経て東京大学医学部医学科卒業。長江杯国際音楽コンクール高校生の部第1位。京都芸術祭「世界に翔く若き音楽家たち」に出演、奨励賞、聴衆賞。大阪国際音楽コンクール一般の部入選。KOBE国際音楽コンクール高校生の部奨励賞。アジア国際音楽コンサート銀賞。ショパン国際ピアノコンクール in Asia 全国大会銀賞。京都フランス音楽アカデミーでパスカル・ロジェのマスタークラスを修了。エレーナ・リヒテル国際ピアノコンクール第3位。ウィーン国立音楽大学にてトーマス・クロイツベルガーのマスタークラスを学費全額免除で修了。ウィーン・ラズモフスキーチューリッヒ四重奏団、アドリアン・コックスと共演。その他コンクール入賞多数。

これまでに阪田誠康、野村眞理の各氏に師事。JAPAN MENSA会員。

現在は医師として在宅診療や緩和医療に携わりながら、病院や高齢者福祉施設、障がい者支援施設、子ども食堂、支援学校などの訪問演奏会を精力的に行っている。



当日の連絡先 : 090-3103-8912
(12:30~16:00)